

Medinus通信

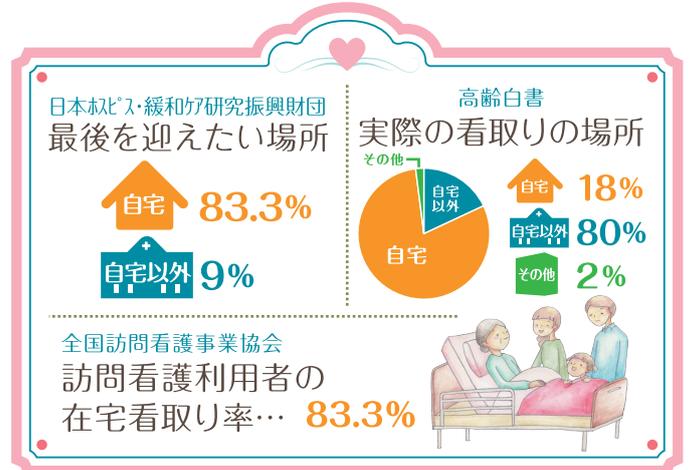
メディナスがお届けする、知って得するお役立ち情報!!



自宅で最期を迎えるということ

在宅看取りでは「お家で看取ってよかった」という声がよく上がります。最期の時を迎えたご利用者も、お見送りしたご家族も、皆一様に満ち足りたお顔をされています。

ご利用者は自らの思いを全うできたこと…
ご家族はその思いを実現させてあげられたこと…
そんな思いが現れています。
ご自宅で最期まで、自分らしく生きたい。
ご家族に寄り添いつつ、ご本人の思いを実現する為のお手伝いをする。それがメディナスの看護です。



74歳 女性 ご主人と二人暮らし
要介護1 / 肺がん
余命3カ月と告げられ、在宅で過ごすことを選択

ターミナルケア事例 私、お家のお風呂に浸かりたいのよね…

ご利用者は在宅酸素をしても少し動くと息苦しくなるため、ゆっくり動いていただき、負担なく入浴できるよう私たち訪問看護師は介助しました。入浴後の表情は本当に幸せそうでした。ただ、がん末期なので徐々にがんによる痛みや、せん妄も現れて来ました。ご主人は不安で、心身ともに押しつぶされそうでした。そんな時、私達は主治医と共に症状緩和に努めるに留まらず、弱音をほかないご主人のお話を積極的に聴き、労わり、相談しながら最善のケアを提供し続けました。実は、余命をご存じだったご利用者は、ご自身がなくなったあと残された家族が困らないよう、葬儀等の指示を細かくご主人に伝えていたようです。そんな姿に私たちは感銘を受け、またこのように生きたいと敬意さえ抱いたものです。そうして「おうちのお風呂に浸かりたい」というご希望は、ご逝去1カ月前まで叶えることができました。最期は、ご主人が見守る中、穏やかに眠るように永眠されました。

【ご主人へのグリーフケア】
グリーフケア1回目は、奥様の遺言に従って、ご主人が事務所にご挨拶にみえました。「寂しい思いがまだ溢れ出て来ます。でも看護師さんが一緒にいてくれたから心強かったし、何も後悔はないです」「俺の時も来てください」と気丈におっしゃいました。グリーフケア2回目は私たちが、ご自宅へ伺いました。ご主人が記録したご利用者の言葉を読みながら、笑ったり泣いたりして故人を偲ぶひとときを過ごしました。ご主人は、「今でも妻への想いで涙が溢れることもあるが、妻の分まで人生楽しむよ」とおっしゃっていました。

グリーフケアとは?
ご遺族の回復へのケアのこと。
訪問看護では無償で行っています。



本人と家族にとって何が最善なのかを話し合う機会をその都度その都度設け、敬意をはらい人間愛をもって、ご本人とも家族とも心を通わすことができました。お看取りでは感動をしていただけて、安堵と達成感でいっぱいです。私たちは、ご利用者のご家族から、生きることの意味や生き様に多くのことを学ばせていただきました。